

教育目標: ○自ら学び、よく考える ○進んで協力し、他人を思いやる ○心身ともにたくましく、最後までやりぬく

目指す学校像: ○生徒が主体的に学び活動する学校 ○教職員が協働して教育活動を創造していく学校 ○保護者や地域社会から信頼される学校

目指す児童・生徒像: ○自分の夢に向かって意欲的に学ぶ生徒 ○他人のために労を惜しまない心豊かな生徒 ○強い意志と自信をもち、たくましく生きる生徒

目指す教師像: ○教育に対する熱意と使命感に富む教師 ○一人一人の良さや可能性を引き出せる教師 ○研修意欲に富み互いを高め合う教師

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標 (中間)	努力指標 (最終)	成果指標 (中間)	成果指標 (最終)	今後の課題	学校関係者評価記入欄
笑顔と誇り	互いに認め合い、高め合い、学びあうことで、思いやりと豊かな心を育み、ひとり一人が居場所と感じ、安心して成長できる集団を育成する。	自己肯定感を育て、居心地感を高めることで以下の改善を図る。 ①いじめ、不登校 ②多様性を認め合える集団作り ③「分三魂(誇り・団結・克服)」 ④心身の健康	教育相談機能の強化と、一人一人の自尊心を高めるコンプリメントを推進する。	4	○	2	○	○自尊心を高める取り組みの推進。 ○教育相談機能の充実と外部連携。 ○コンプリメントの一層の推進。	自己肯定感については、12～15年生きてきた生徒の家庭環境や成育歴などがあり、大変なことと思うが、中学校という場で先生からありのままの自分が認められていること、感じさせること、また生徒たちにも人として、クラスメイトを認め合うという指導を続けていくことが大切なのだと感じる。
			学校行事や生徒会活動、部活動を充実させ、異年齢交流や多様性を認める活動を推進する。	—	○	4	○	○全校での学校行事の充実。 ○生徒会活動活性化への指導。 ○心身の健康のための取り組み。	勉強が苦手な生徒も行事等で活躍できる場がたくさんあると思う。
確かに豊かな学力	分かる授業、興味・関心のわく授業の実現に努め、確かに豊かな学力の定着を図る。	基礎学力の充実に加え、協働的な学びやICTを活用した学びにより、主体的な学習者を育成する。	ユニバーサルデザインに基づいた授業づくりと補習教室等での個に応じた指導を行う。	4	○	4	○	○丁寧な学習指導の継続。 ○ユニバーサルデザイン化の確立。 ○個に応じた学習援助。	授業参観をしたときに、どの教室も落ち着いて授業を受けていて、先生が生徒に対して丁寧に接していたことに安心した。チャイムが鳴らなくても、時計を見て行動できているのもよい。
			ICTや言語活動を活用し、思考力・判断力・表現力の伸長と知識だけでない学力を育成する。	3	○	3	○	○ICTによる個別最適な学びの推進。 ○主体的な学習者育成を目指した授業改善。	・ICT活用は、得意な教員から学ぶ、学習する機会を作ることが大切なのかと思う。 ・授業でICTを活用するためには、学校で先進的な取り組みをしている先生の授業や生徒の活用事例を動画に撮って学校内で閲覧できるようにして全体の底上げを図るのも良いかもしれない。
未来へ開かれた教育	地域や多様な教育資源を活用し、生徒の社会貢献や奉仕への意識を高める。	自校でのESD(SDGs)推進を行い、校区へも広げる。保護者や外部人材を活用した多様な教育活動を工夫し、主体的に他者や地域・社会へ貢献する態度を育成する。	防災を中心とした地域連携を推進し、生徒の社会貢献への意識を高める。	—	○	—	○		
			学校だより等やブログでの積極的な情報発信を行う。	—	○	—	○		三中ブログにより、学校の行事(体育祭や修学旅行など)の様子が保護者に届いていることは好感が持てる。学校の様子が学外に発信されることと、保護者や地域等の外の眼が入ることにより、生徒と教師だけの閉鎖空間になりやすい学校にある種の緊張感を与えることができれば良いのかなと考えている。いじめや不祥事の抑止という観点から開かれた教育は必要である。